

4月号 ごあいさつ
 おかげさまで創業70周年 感謝の意を込めて!!
 今注目される「人的資本経営」とは

株式会社 山西 あすなる会顧問
代表取締役社長 西垣 洋一

企業価値向上につながる「人的資本経営」

近年、第4次産業革命などによる産業構造の急激な変化、少子高齢化社会や人生100年時代の到来、コロナ禍における個人の意識の変化など企業を取り巻く環境は大きく変化しています。それに伴い、企業における人材に対する考え方や価値観も変容しています。こうした中、人材を「資源」ではなく「資本」と捉え、その価値を最大限に引き出し、中長期的な企業価値向上につなげる「人的資本経営」が注目されています。この経営手法は、人材の採用や育成などをコストと捉えるのではなく、企業の成長に欠かせない投資の一環であると考え、目まぐるしく環境が変化する現代において持続的に企業価値を高めていくために必要な概念です。

《人的資本経営に必要な5つの要素》

- 1) 動的な人材ポートフォリオの策定と運用
 ⇒ 経営戦略の実現に向けて必要な人材の要件を定義し、人材の採用や配置、育成を戦略的に進める。
- 2) 知・経験のダイバーシティ（多様化）& インクルージョン（一体性）
 ⇒ 専門性や経験、感性、価値観といった知識や経験の多様化に取り組む。
 多様な人材の獲得に加え、社員の多様な能力が発揮できる環境を整える。
- 3) リスキル（新たな能力や技術の習得）・学び直し
 ⇒ 人的資本経営に取り組むうえでは、各人材のスキルや能力についても配慮が必要。
 生産性向上や新しい価値提供のために、人材に新しいスキルや能力を学ばせる。
- 4) 社員エンゲージメント（信頼や貢献意欲）
 ⇒ 経営戦略の実現に向けて社員が能力を十分に発揮するためには、社員がやりがいを感じ、主体的に業務に取り組める環境を整備する。
- 5) 時間や場所に囚われない働き方
 ⇒ 人材が安心して働ける環境を提供し、より集中して効率的に仕事に取り組めるようにする必要がある。

かつて経営の神様である松下幸之助翁は、「企業は人なり」「人材こそ最大の財産」という言葉を残されました。言うまでもなく企業や組織を運営していくためには社員（ヒト）は不可欠な存在です。企業成長の根幹は人であり、人材の育成に注力することは企業の発展には欠かせないものです。人的資本経営を実践し、人材を「資本」と捉え、社員の成長や能力を最大限に発揮してもらうことこそ幸之助翁が言う「企業は人なり」だと私は思います。当社としましても、右の第71期スローガン、「打つ手は無限！ 自ら風をつくる 価値の創造を!!」の通り、社員一人ひとりの主体性を大切に、働きがいのある職場づくりに努めて参ります。

創業70周年感謝の意を込めて!!

当社は、昭和28年4月に創業し、71期に入り、おかげさまで70周年を迎えることができました。これもひとえにお得意先様、仕入先様をはじめ多くの皆様方の温かいご支援の賜物と、厚く感謝申し上げます。今期は、周年企画として、仕入先様のお力もお借りして、70周年記念セールなど各種の記念事業を準備しております。これまでの感謝の意を込めて、又、創業時の気持ちを持って、これからも皆様と共に邁進していく所存です。そして、71期を再創業、再構築の期とし、全社員心を新たに、皆様方の御要望に応えられる企業となれるよう尽力して参りますので益々のご愛顧の程お願い申し上げます。

2023年4月吉日

第71期 総合「質」経営
 ～創業70周年感謝の意を込めて～

《仕事の資質》

環境整備年間
SDGs ESGの実践

三方よしの経営
売り手・買い手・世間よし

5ゲン主義
現場 現実 現物
原理 原則

働きがい改革
生産性向上 ダイバーシティ
BCP ワークライフバランス

《仕事の基本》

5S+2S
継続的カイゼン

報告・連絡・相談
ホウ・レン・ソウの確認

PDCA・CAHF
善の循環

5W・2H・1B
マネジメントサイクルの実践

打つ手は無限!
 自ら風をつくる 価値の創造を!!

ワンストップサービス
 サポートシステム推進
 サプライチェーンの構築
 バリュエーション

年輪経営（人的資本経営）
 ファイスト・コール・カンパニー宣言

5“自”の実行

自己責任 自助努力
 自主判断
 自立 自律

5W《ワーク》

ハートワーク (発想力・創造力) フットワーク (行動力・継続力)
 ヘッドワーク (計画力・企画力)
 ネットワーク (人間関係構築力) チームワーク (協調性・結束力)

山西 株式会社